

日程 平成 29 年 9 月 23 日～25 日 (北ア) 唐松岳・五竜岳

9/23 新宿＝白馬＝八方駅＝八方池山荘 (泊)

9/24 八方池山荘－唐松岳頂上山荘－唐松岳－牛首－五竜山荘 (泊)

撮影者 松村



001 八方尾根

八方駅からゴンドラとリフトを使って一気に標高 1830m の八方池山荘へ。翌朝、唐松岳へ向けて出発。道は整備されて歩きやすく観光客も多い。途中、雄大な五竜岳と鹿島槍が岳が現れた。



002 八方池

楽しみにしていた八方池。一旦、登山道を外れて池の淵まで下りていく。池は大きな鏡の様になり、青い空が白馬三山と共に水面に映り、暫し絶景を楽しむ。



003 八方尾根

登山道は石ころの多い険しい道になり、ここからは本格的な山登りとなる。紅葉のピークはあと一週間後といった感じだが、まだ緑も残っていて色彩が楽しめる。



004 唐松岳山頂

唐松岳山頂小屋に荷物をデポして空身で山頂へ。剣岳、立山連峰、槍が岳など日本の屋根と呼ばれる北アルプスの主稜の山並みが美しく連なっていた。



005 いざ牛首へ

いきなり連続する鎖場が始まる。両手を空ける為、ストックをザックにしまい慎重に進んで行く。狭く高度感のある岩の下りが続く。最低鞍部に到着すると、今度はハイマツ帯の中を登り返して五竜岳山荘へと向かった。





006 五竜岳へ

朝陽に照らされダイナミックな山容の五竜岳が素晴らしい。小屋に必要な荷物を預け山頂を目指す。最初は緩やかな道だが、すぐに岩場が現れ鎖場の連続となり朝から気の抜けないルートである。

007 五竜岳山頂

北アルプスの山々が広がり 360 度の絶景を楽しむ。鹿島槍が目の前に大きく聳え立ち、八峰キレット分岐点から山頂まで稜線が伸びているのがはっきり見えた。



008 五竜岳の下り

下山道からは、ここまで歩いてきたルートが一望できるが、景色を楽しむ余裕はない。五竜からの下りも、かなりの高度感があり、牛首に引けを取らず鎖場の連続で、慎重におりていった

009 白岳

昨日は巻いた山頂に立ち寄ってみた。五竜岳、鹿島槍の山容に紅葉がバランスよく溶けこんで眺望が見事だった。いずれも百名山。圧倒的な大きさで存在感を感じる。



005 遠見尾根を下る

テレキャビンまでの下山はアップダウンが 4 回ほどあり、小遠見尾山からの長い木の階段は疲れた足にこたえたが、ダケカンバやカエデ、ナナカマドの紅葉が美しく癒された。